

1. 性別を選択してください	2. 起業した理由は？	3. 起業する際に【最も大事なこと】を1つ挙げるとしたらなんですか？	4. 「起業前にやっておくべきだった」と起業後に感じたものは？
1 男性	税金面で有利になるからと自分ですべてにおいて行動したいと思ったため	その仕事に対する熱意	宣伝をもっと広範囲に行うべきだった
1 男性	会社勤めでは、自分のやりたいことや持っているスキルが発揮できないからです。	取引先の確保と、一緒に働く仲間を見つけること。	周囲へのPRと資本金。
1 男性	自分の趣味をずっとやってきて、その関係で起業を相談された。	細かいほどの長期、短期の計画書。	資金の色んなパターンを想像したシミュレーションと対策案。
1 男性	もともとやりたいことがあり、経験と貯金のため社会人(会社員)となりました。予定通り5年経験したところで脱サラしました。	あらかじめ一定の顧客を確保する	上司・財務担当者・幹部としての経験
1 男性	とにかくお金を稼いだかった！そして自分の作った作品を多くの人に見てもらいたかったから！	まずは自分のHPを用意すること！そこから雑誌の取材や新聞の掲載依頼が来るから売り上げアップにつながる	もっとネットの勉強をしておくべきだったと感じる！ネット特有の世界があるので勉強してから起業するとうい
1 男性	職場の上下関係及び、自由に仕事をしなかったため。	選んだ商品がどこまで需要、供給があるかを見定めること。	場所を具体的に不動産と話しあうべきだった。
1 男性	学生の頃からの夢でとにかく自分の会社を立てたいって思っていたから	色んな知識を詰め込んでからパソコンの操作をできるようにする	もっとパソコンのことを勉強しておけば良かったと思った
1 男性	今までは、レストランで勤めていたのですが独立するために起業しました	資金を調達することです	お金があればあるほどいいと思います
1 男性	人に従って給料をもらうのが嫌になったので	マーケティングと人脈	色々な人と会いそういった人の話を聞いておけば良かったと思う
1 男性	仕事を覚えてしまい会社勤めをしている意味が分からなくなったからです、立し自身で商売したほうが収入アップにも繋がりますし仕事に対してのモチベーションもアップすると思ったからです。	事前の準備です、起業に必要な物を揃えたり計画を立てる事が大切です。	特にありませんでした、起業前に準備はして万全でし、成功する事も失敗した時のシミュレーションも事前に行って計画していたので起業後に感じたものはありませんでした。
1 男性	自分のやりたいことを仕事にできることと自分の時間で仕事ができるから	どんなことがあっても諦めない粘り強さと体力	もっと資格をとっておくべきだった
1 男性	前は自分のやりたいことができるからと自分の時間で仕事ができるからと書きましたが、それに加えてサラリーマン時代に会社の人間関係にとでもストレスを感じたから。	どんなことがあっても諦めない粘り強さと体力、と前回書きましたがそれには自分にとっての大事なものを捨てることができる必要があると考えています。	もっと資格をとっておくべきだった、と書きましたが日本の資格では土業が強い、と言うことをかなり後になって感じるようになったからです。
1 男性	自分自身の力を試したかった事と、そこからさらに稼いだかった為	その業界のさまざまな情報調査	情報調査立地やライバル会社、その業界の動向など
1 男性	同じ仕事を10年程経験して、独立できる自信があったから	自分に自信を持つこと	マーケティングの勉強
1 男性	新規事業を立ち上げるため、個人から法人登記にした。	慎重かつ大胆が必要と思います。	資金を予め貯めておけたら、運用が楽だった
1 男性	前職を解雇された後に自分がやりたい事をやろうと思ったから。	何をやりたいかという明確な目標を持つこと	しっかりと情報収集をしておけばよかった
1 男性	私は、小学生の頃から「でっかい男になってやむ」と思い続けてきました。その願いを叶えるために起業しました。	最初の一步ですね。それが踏み出せるかどうか大きな分かれ道です。	もっと色々なことを勉強しておくべきだったと思いました。
1 男性	自分一人で会社を立ち上げたかったのです。	自分の考えだけでなく、第者の意見を聞くこと。	市場性の問題とその判断材料。
1 男性	ある程度仕事に慣れてきたので同業で起業しました。	開業資金ですかねやっぱり。	その業種が先細りしないかの市場調査。もっと早くに立つべきだったと強く思った。ありがとうございました。
1 男性	今の仕事に満足をしてしまい、自分でもなにかができるんじゃないかと思ったから。	中長期的な将来設計を考える	人脈作りと、中長期的な将来設計
1 男性	自分の技能を微力ながら役に立たせたかったから	開業後の信頼できる人脈	各種セミナーに参加しておくべきであった
1 男性	昔からラーメン屋の運営に携わることが夢だったから	余裕を持った資金の準備と運用	起業とはべつに生活費としての貯金を計画をもってしておくべき
1 男性	会社勤めしていたのですが、自分のやりたいことをやりたいと思い独立しました。	困ったときに相談できる人脈を作っておくことだと思います。	税金関係の勉強をもっとしておくべきだったと思います。
1 男性	コロナ禍で学校に行けなくなった子どもがいる家庭は多い。しかし、夫婦は稼ぎでないと対応できない。その子どもに対して勉強する塾をして欲しいと町内会長から言われて塾を企業	資金繰りとサポートしてくれる人	社会保険関係の手続き
1 男性	これからは、DX、AIによって多くの人件費が削減される。大企業でも安泰ではないと思ったから	応援してくれる人を作る。マーケティングSNSの知識 営業スキル	同じ業界で稼いでいる人を徹底的にまねることマーケティング
1 男性	自由な自分の時間と自分のペースで仕事ができること。	自分の目標を明確にして取り組むこと。	もう少し幅広い分野を勉強すべきだった。
1 男性	自分自身のライフスタイルに合わせた仕事をしていくため	長期的なライフプランの策定	ローンやクレジットカードの作成
1 男性	食品会社をしているのですが、産地偽装が多い中、地場の本物を食卓に届人間関係です。それが無いと仕入れや販売もできません。けようと考えたからです。		資金力の増強。軌道に乗るまでのランニングコストはもっと考えた方が良かったです。
1 男性	会社員での生活も決して安定している、安心できるとは思わなくなったから。	とにかく自分で情報を集め、精査できる力を身につけておくこと。	プレオープンなどリハーサルとして実際に業務を行う事。
1 男性	会社内再雇用や定年延長の話もありますが、定年退職を迎えるにあたり、会事業収入が最悪なくとも、生活できる貯蓄です。私の場合は年金が満額支給の都合ではなく心身が元気な内は働き続けることを目標に起業しました。	給されるまでを目安としました。	コロナ禍に丁度重なり、営業活動や交流などが全くできませんでした。起業前に副収入の手段をもっと検討して取り組んでおけば良かったと思います。

1	男性	雇われるのが向いていないと感じていたのと、本当の意味で経済的に自立したかったというのが大きな理由でした。	小さく始めること、いきなり金額の大きいこと、規模の大きいことをやろうとする自分ややろうとしている分野に関わっている人との繋がりを広く持つことと些細な問題で回らなくなってしまうことが多いので小さいところから経験を積み、ネット調べてもある程度のことは把握できると思いますが、実際に体験した人の話を聞くのでは次元が違います。困ったときにはすぐに相談できるとの話を聞き取りと作って置くべきですね。初めて起業したときにはサラリーマン以外の繋がりが無い状態で始めたので、どうしていいのかわからないことが多過ぎて苦労した挙げ句に半年も経たずに廃業しました。いまは三度目の起業なのですが、周囲には様々な分野に強い方々がいらっしやるので順調に進めることができている。	自分がやろうとしている分野に関わっている人との繋がりを広く持つことと些細な問題で回らなくなってしまうことが多いので小さいところから経験を積み、ネット調べてもある程度のことは把握できると思いますが、実際に体験した人の話を聞き取りと作って置くべきですね。初めて起業したときにはサラリーマン以外の繋がりが無い状態で始めたので、どうしていいのかわからないことが多過ぎて苦労した挙げ句に半年も経たずに廃業しました。いまは三度目の起業なのですが、周囲には様々な分野に強い方々がいらっしやるので順調に進めることができている。
1	男性	YouTubeなどでよく扱われていて興味を持ち、よく見ていてやってみようと思えました。	計画をしっかりと立てること。	運転資金や生活費などの資金をしっかりと確保しとかなければいけないと感じました。
1	男性	体調不良により会社勤めができなくなった為、在宅でできる仕事で起業することにしました。	情報収集能力だと思います。	情報収集能力を高めておくこととクレジットカードを作っておくことです。会社員であればクレジットカードは容易に作れます。
1	男性	会社勤めをしていると、自身のスキルが活かされなと感じたため。	経営に関する知識と、人脈が重要だと思います。	人材と確保に係る緻密な計画と事業開始時期の計画を合致させるための働きかけがスムーズに行えると更に良かったと感じます。
1	男性	将来、老後生活を豊かに過ごしたく、身体が動くうちに稼ごうと考えました。	儲かる職種のリサーチ。	信頼できる従業員の確保。
1	男性	起業する前、私は、住宅修繕関連の小さな会社の営業補助の仕事でした。しかし、「自分を愛してみたい」という事が高まり、その会社を退社し、ある外資系生命保険会社の業務委託外交員として、個人事業をたちあげました。	個人事業を立ち上げるにあたり、「自分自身のブランディング」する事を常に感じたことです。	今は、オンラインの会計アプリもあり、経理業務もほぼ一人で可能な時代ですが、少なくとも「簿記」の知識を持つと良いと思います。
1	男性	雇われて上から言われるのが嫌だったのと、自分の力で稼いでみたかったからです。	決めてたらとことんやりきる気持ち	起業前にやっておくことは役所に届出です。節税できるの知りませんでした。
1	男性	雇われている時以上の収入を得たいと考えたからです。	周りの人に相談すると、多くの人は「成功する筈がないからやめた方がいい。」といってきます。本当に心配してくれているケースもあるが、大半は常識で話しているだけなので、どんな事があっても叶えたい夢があるなら、挑戦し続けて欲しい。	人脈づくりは、本当に大切。特にメンターは必要です。悩み事を相談して成長させてくれる人は特に。
1	男性	10年以上務めた前の会社では、「先に早く帰ると悪い」ような、良くない人間関係が形成され、無駄な残業(残業代がちゃんと出るわけではない)が多く、そのうえ新しい仕事をこなさなければ居場所がない状況になり、プライベートが圧迫され、疲弊してしまいました。この状況を変えるため、思い切って「辞めると上司に言ったところ、ならば「独立」を勧められ、また周りにも賛成してくれる方、協力してくれる方も居たため1度きりの人生、思い切って「独立」して「起業」してみることにしました。	独立した際、思いの外、様々な方が仕事を依頼してくれました。前の会社に居た間、なにげに「人脈」が出来ていたようです。人間同士、信頼関係が無いと仕事になりません、この先も「人脈」は広げ、大事にして行きたいと思っています。	何ごとにも、お金がかかります。コロナ以前はなんとかやれていましたが、コロナ後は、その影響が売上にとっても響いています。もしもの時のための蓄え、会社の資金に対する対策、危機感の様な物を、もっと考えておくべきでした。
1	男性	自分の会社を持ちたかったためです。会社勤めをしている以上必ず自分と合わない部分があります。自分で会社を作ってしまうとお客さんも選べる、働く時間も選べると思いストレスが少なくなると考えたため起業しました。	不確実なことにも挑戦できる精神力だと思います。	車や家など、ローンで買うものを買っておけば良かったと思います。起業したばかりだと社会的信用が低くローンが組めません。
1	男性	資格を取り、1人でもやっていた自信がなかったので。	資格を取る事が無難だと思います。	資格取得と修行でした。
1	男性	会社員ですが、現在の企業の今後が不透明だと感じたため、自らの事業を立ち上げました。	思い切りだと思います。また、自らのリスクをきちんと把握することも大事だと思います。	開業費をきちんと資産登録しておくべきでした。節税の観点で。
1	男性	フリーランスカメラマンをしているのですが2000年初頭フィルムカメラからデジタルカメラに移行した際、仕事の受注を見込めると考えたため	いただいた仕事を断らない	仕事をいただく上での根回し
1	男性	組織に属して、煩わしい組織の人間関係に嫌気がさしたから	収入の見通しをつけておくこと	組織に属していた時に、社内外とわず人間関係をもっと広げておくべきだった。
1	男性	組織に所属することでの義務やプレッシャーが嫌になり、同じ義務やプレッシャーならキツくても自分でコントロールできる方が良いと思ったから。	向こう半年くらいの運転資金と生活費。	税金に関する勉強は起業後だとなかなかゆっくりできないので起業前にじっくりやっておくべきだったと思う。
1	男性	元々興味のある分野であったことと、資格取得という後押しがあったため。	その分野の情報と同業者とのコミュニケーションツール。	事前調査をもっと入念にすること、税金の勉強をしておけば良かったと思った。
1	男性	チームワークなどが苦手なので、自分は企業勤めには向かないと感じました。	しっかりと資産の管理が大事だと思います。	十二分に資産を蓄えてから経営を行えば良かったです。
2	女性	自分で稼ぐことをしてみたいと思い天然石アクセサリーの店舗を開業しましたとにかく忍耐強くやることだと思います。		もっと経営に対して数字の勉強をすべきだったと後悔しました
2	女性	結婚し、夫が転勤族だったため、居住地に囚われない働き方をしたいと考え継続することが何より大事なので、自分が長く続けられると思う好きなことを仕事にすること		会計知識をつけること。簿記の勉強など
2	女性	東京から実家のある地方に戻り、仕事が普通にあると思ったが希望通りの条件、職種がなかった。また、地元が以前よりも廃れていくのを微力ながらなんとかできないか？と思った。	困ったことがあったときに助けてくれる、自分の商売を応援してくれる人脈作り。	お金の使い方のシミュレーションをもっと詳細に厳しくやっておくべきだった。最初にお金をかけすぎて後で足りなくなる、という凡ミスをしたので。
2	女性	勤めていた会社が右肩下がりがだったので、年齢的なことも考えて再就職は難しい専門家の意見を取り入れるしそだったので		確定申告や税金、納税などについてもっと勉強しておけば良かったです
2	女性	何か始めたいと思っていたところにパートナーがやりたいことを思いついた	開業届を出し税理士(会計ソフト)を頼むという開業準備	家計簿を普段からつけること
2	女性	組織に属さず、自分のやりたいことを追究したかったから	何をやりたいかを明確にすること	経理の知識を入れておけば良かった
2	女性	自分のやりたいことが見つかったの。人生一度きりなのでやりたいことはやったほうが良いと思った。	勢い。悩んでいるなら進むこと。	資格をとったり、起業セミナーなどいって見たら良かったかなと思った。

2	女性	通勤したくない、自由に仕事ができる期待感。	資金力、お金が無いと起業出来ない。	貯金を沢山しておくこと。
2	女性	元々会社勤めが得意ではなく、自分の責任で仕事があったからです。	起業に必要な資金の調達です。備品や設備の購入にも結構なお金がかかるので、まとまったお金を用意しておく必要があります。	ターゲットとする顧客層を、もっとちゃんと絞っておくべきでした。
2	女性	趣味で稼ぎたいと思ったからです。好きなことで稼げたいいなと思いました。	絶対に成功するという強い気持ちです。	SNSなどでもっといろいろな人と交流しておくのと良いと思います。
2	女性	会社員としての収入に限界を感じたからです。	人に何を言われようと、自分を信じる信念です。	法律、税金、労基など、人を雇う上で必要になる勉強です。
2	女性	自分のやりたいことを自分の力で世に出していきたくかった	やり抜こう強く思うこと	事務系のことは学んでおきたかった
2	女性	ウェブライティング専門の会社を立ち上げて生計を立てたいと考えたから。	やる気の継続ですね。強い意志！	経営のノウハウなどをしっかり勉強しておくべきだったと猛省してます
2	女性	自分の得意なことでお金を稼ぎたかったから。組織に属していたくなかったから。	とにかくやってみようという勇氣	人脈を広げておくこと、人との縁を大切にすること
2	女性	自宅の一室が余っていて、何かやりたいと思いました。	お客様ファーストを一番考える事です。自分の利益を優先してしまいがちですが、そのバランスが難しいのですが・・・	地域の価格調査をきちんとやっておくべきでした。
2	女性	お客様の中から、お声がかかり資金提供くださりました。	どうしたいのかという事	経理の勉強です。誰にも騙されないように、事業内の金銭の把握です。
2	女性	不動産を取得した為、これまでやっていたことと一緒に入れて、法人を設立した方が良くと専門家の方にアドバイスをいただきましたので、決断しました。	決断力です。臨機応変に決断していかないと物事が進まない為。	最低限の会計の知識です。
2	女性	長く夜の世界で仕事をしてきて自分の店を持ちたいと思ったから。	人とのつながりを大切にすること。	起業パートナーとお金の話をもっとちゃんとしておくべきだった。
2	女性	学生のときに取り組んでいたネット販売が上手くいっていたので	法人として正しく活動するうえで法知識	税金についてもっと勉強しておくべきだった
2	女性	長年勤めていた会社だったが昇給したにもかかわらず給料はわずかに上がらない、それでいて拘束時間は長かったので独り身の時はよかったけど結婚したら生活と仕事で精神的にも体力的にもキツく感じて独立する決心をした。	いい意味でのどうにかなるという思考。勢いは大事。	クレジットカードはもういくつか作っておくべきだったと感じる。
2	女性	協調性が乏しく独立心が旺盛なので思い切って起業しました。	自分の性格を正しく理解すること。	お金に関する知識を増やすべきでした。
2	女性	年齢的にどこかに雇ってもらうチャンスが減ると予想して独立しました。	起業するのは誰にも出来るけれど持続は難しいので、持続できる職種を選ぶことが大事。	人脈はこだわりを捨てて幅広くつくるべきでした。
2	女性	マッサージ店をしました、理由は会社の人間関係に疲れていたためです。	人脈だと思いました。	税金についての知識不足でした。
2	女性	自分がやりたいことで、少しでも事業を大きくしていきたくったから	働く環境をつくること	経理などお金回りの勉強
2	女性	副業にしていた職業の収入が段々増えてきていたので。独立するには、まだ早い気もしましたが、挑戦したいという気持ちが強く、普段の仕事ぶりを見られている人たちに背中を押してもらったので、起業しました。	やる気！」と言いたいところですが、実際は「事前準備」	もっと、お金のこと(税金のことなど)を勉強しておくべきでした。
2	女性	職業訓練校に半年間通っていた時に、同じクラスになった仲間内で始めは「勉強会サークル」として始めたのがキッカケでそのまま起業に変えて、サークルから教室にしたのが理由です。あともうひとつの理由としては、ハローワークに行っても何かと理由を付けられて、紹介状を出してもらえなかった経験もあるので自分で起業した方が早いわって思った事です。	自分が起業するお仕事に関して、共通の仲間は居た方が全然良いです。情報交換も出来ますし、もしかしらお仕事の案件を回して頂ける事もあるので、かなり重要です。	私の場合はサークルからだったので、特にありませんでしたが、最初から起業する形であるならば、宣伝すべきだと思います。そこから拡散されていけば、何かしらのキッカケになると思います。
2	女性	新しい事業を生み出したかったのと、大企業に勤めることに抵抗があったからです。	持続可能な経営力だと思います。	資本金を増やしたり、資格を沢山取れば良かったです。
2	女性	自分の身に着けた技術で勝負してみたいと考えたから。	企業計画と未来予想図を堅実に行うことだと感じています。	勢いだけではなく長期の目標計画を立てておくべきだったこと、仕事量の安定が困難になりました。
2	女性	社会情勢を感じながら在宅でもできる仕事は何かと考えライティングワークに意欲が湧いたから	ライティングはただ書くだけではなくコンセプトや構築が必要であること、書くことの手順を習得しておくべきだと考えます。	簡単なことではないと認識した時に事前にライティング技術を学習する機会時間を持つべきだったと反省しました。
2	女性	能力を発揮して社会参加がなかったから。	信頼できる人に、事業計画などを客観的に評価してもらうこと。	不測の事態(コロナなど)に見舞われた場合、どうするかを予め想定しておくこと。
株式会社BLISSLEADによる調査(2021/11/1)				
弊社の許可無く、著作権法および関連法律、条約により定められた個人利用の範囲を超えて、複製、転載、転用等の二次利用を行うことを固く禁止します。				